

海、食、景 若い目の美浜暮らし

PR冊子「みはまデイズ」学生制作

美浜町が発行している町のPR冊子「みはまデイズ」に今春、初めて若者版が誕生した。地元の日本福祉大学の学生らが制作に関わり、「若者たちのみはまデイズ」と名付けた。町在住者のライフスタイルを紹介するなど、若い世代の目線を意識した内容になっている。(鈴木佐歩)



①「若者たちのみはまデイズ」を編集した佐藤さん＝美浜町役場で
②通常版の「みはまデイズ」第9号



若者版の制作は、日福大の関連会社「エヌ・エフ・ユー」が町に提案。費用面を含め、同社が三千部を作成した。町は内容について意見を出すといった部分で協力した。

編集の中心となったのが同社でアルバイトする佐藤亜美佳さん(三二)＝日福大社会福祉学部四年。佐藤さんが編集長となり、同じアルバイトの外国人女性と二人で昨年の夏ごろから企画を考えた。



な内容なら若者が興味を持つてくれ、町の魅力が伝わるかという点。その結果、町に住む若者のライフスタイルや、若者に人気があるような町内の飲食店などのスポット巡り、海の幸を使

日福大生・佐藤編集長「楽しいことできる町見て」

れるきれいな景色なども入れた。また、レシビには分かりやすいようにイラストや動画も。動画に誘導するためのQRコードも入れた。冊子のレイアウトや文章も一工夫。どうすれば若者の心に響くか時間をかけて考え、推敲した。若者に親しみを持ってもらえるように、文章は硬くならないよう心掛け、語りかけるように話し言葉多用。イラストも、佐藤さんが手掛けた。

「これまで大掛かりな作品を作ったのは初めて。自身も取材しながら知ることができた魅力を制作に生かすことができたので、思い入れも強い」と佐藤さん。「読んだ人に若者たちの楽しんでいる姿や町の魅力が伝わったらしい。美浜は自分らしく自然と一緒にのびのびと過ごせて、楽しいことができると知ってほしい」と話す。

また、通常版の「みはまデイズ」の第九号も町が六千部制作。美浜の自然で学ぶことをテーマに、自然観察会や親子防災キャンプを取り上げている。

いずれの冊子も、タブロイド判の全八ページ。町役場や町内の公共施設、取材に協力した店などで配布している。町企画課＝0569(82) 1111